

# みらくる

2014年1月号

発行：日本共産党世田谷区議団

〒154-0017 世田谷区世田谷 4-21-27

TEL 5432-2791 ~ 2 FAX 3412-7480

Eメール：kugidan@jcp-setagaya.jp

ホームページ：http://www.jcp-setagaya.jp/kugidan/

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。



日本共産党世田谷区議団

今年もよろしくお願ひします

昨年、みなさんのご支援で躍進の年にすることができました。ありがとうございます。

安倍自公政権の暴走に国民の怒りが広がるなかで、新しい年が明けました。悪政にストップをかけるために、今年もがんばります。

区政では国の社会保障改悪から小中学生の就学援助を守り抜きました。また、保育待機児ゼロをめざし、今後5年間で保育整備率を27%から46%に引き上げる計画（7千人分増設）が実現、特養ホームも新規の増設計画をつくることができました。

今年もみなさんとともにがんばります。

## 若者が希望をもって働ける社会へ

日本共産党は、若者を使い捨てにするブラック企業を根絶するために、さまざまな提案を行っています。若者が希望をもち安心して働ける社会をめざして全力をあげます。

### 国会で

#### ブラック企業規制法案を提案

日本共産党は昨年、国会にブラック企業規制法案を提出しました。規制法案は違法行為へのペナルティー強化と長時間労働の規制、離職率などの情報公開で、悪質な「手口」を封じようという内容です。厚生労働省は4千社への立ち入り調査を実施し、今後、企業の離職率を公表すると表明しました。

### 区議会で

#### 若者支援に位置づけるよう提案

「(生きづらさの) 要因にブラック企業問題がある」(保坂区長答弁)

世田谷区は若者支援を強めていますが、その中でブラック企業問題を位置づけるよう提案しました。保坂区長は「精神的に追い詰められたり、引きこもりの状態に入ったり…生きづらさを抱える要因にブラック企業問題がある」と答え、区の若者向けリーフに追加していくと答えました。



4月開園の保育園建設が遅れています。区は暫定施設の整備を決定しました。(4面をご覧ください)

## 世田谷区議会 第4回定例会報告

11月27日から12月6日まで開かれました。とりあげた質問を紹介します。



桜井みのる

### 世田谷公園を平和の公園と位置づけよ 平和資料館の運営は区民参加で

世田谷公園は、平和の灯や平和の祈り像、被爆二世の木などが集められています。世田谷公園周辺は、戦前に駒沢練兵場や野戦砲兵連隊などの軍事施設があり、そのため世田谷区が受けた空襲の中でも三宿、池尻、太子堂、下馬、若林などはもっとも被害が大きかったところでした。

区民が戦争と平和を考える場として世田谷公園を位置づけることを求め、区は「平和資料館を核とした様々な平和施策を推進してまいりたい」と答えました。

また、平和資料館は、区民参加の運営にすべきと求め、区は「運営協議会等を設置する場合は、公募も含めて幅広い区民の声をいただく」と答えました。



中里光夫

### 秘密保護法の撤回を求め、超党派で意見書を提案

秘密保護法は憲法蹂躪であり、内容も強行採決も許せません。他党派の区議に呼びかけ、超党派で2回の街頭アピール行動が実現しました。また、最終本会議で「特定秘密保護法の撤回を求める意見書」を提案しました。私が提案理由を説明、生ネ社、民主、F行革、緑の党の各党派から賛成討論がありました。自民、公明、一部の1人会派の反対で否決されましたが、提案に参加した議員から「たたかいはこれから」の声があがっています。

### 今やるべきは給料アップのための政策だ

職員給与条例が改定され、区の公務員は15年連続の給与削減となりました。15年前と比べると平均年収で90万1千円の減になります。官民ともに働く人の所得を上げるための政策が必要です。



村田義則

### 東急大井町線、くり返される踏切事故……安全対策いそげ 急行が運行されてからすでに3件、2人が死亡

2013年11月、大井町線尾山台駅に隣接する尾山台1号踏切で、96才の女性が急行電車にはねられ、死亡しました。大井町線の区内での踏切事故は、2008年に急行が運行されるようになってから3件目(自殺を除く)。2010年の等々力駅の事故(71才の女性が死亡)など、お二人が亡くなりました。急行運行前の5年間で踏切事故は1件もありませんでした。

事故後、地域住民のみなさんが東急電鉄に安全対策を申し入れましたが、区としても住民の安全を守る立場から対策を検討し、東急に要請するよう求めました。特に、高齢者の踏切事故の増加が大きな社会問題となる中、新たな視点で安全対策にあたることを求めました。



江口じゅん子

### 江口区議は出産のため第4回定例会は欠席しました

日ごろからのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

12月に無事、出産しました。2月定例区議会に出席できるよう体調を整えています。諸課題が山積するなかで、みなさんにご迷惑をおかけしています。産休があげましたら活動を再開いたします。よろしく願い申し上げます。

## 都政情報

都の「いじめ総合対策」が発表されました。未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処、の4つの段階での取り組み、「学校いじめ対策委員会」の全校設置、「いじめに関する教員研修」などの対策を挙げています。問題は、いじめ対策として効果を発揮できるかどうかです。私は都議会質疑で「教員研修」は教員自らが考える機会を設定すること、教員同士が気になることを話し合える学校運営をすること、いじめた子への指導は、「自分の行ったことはいじめだ」と納得し心から反省できるまで丁寧に行うことを求めました。そのためにも、教員の多忙化の解決、教員数を増やすことが必要です。議会では、滋賀県が大津市のいじめ自殺事件を受け、中学全学年での35人学級を決めた例もあげて、都にも少人数学級の拡充を迫りました。(都議会議員 里吉ゆみ)

# 「歩いて楽しい街づくり」 を重点計画に 前区政の「行革計画」は見直しを 代表質問を行なった桜井みのる区議に聞く



## 住民主体の街づくりを

Q 区の新基本計画素案が出されましたが、共産党としてはどのような見解ですか。

A 新基本計画に対しては、区議団としていくつかの提案を行ないました。

一つは、街づくりについてです。世田谷区政の歴史の中で、街づくり政策は常に中心的骨格をなしてきました。住民自身が街づくりの主人公として、乱開発から住環境を守り、密集地域では安全な街づくりのために修復型のまちづくりが進められ、成果をあげてきました。しかし新基本計画素案の重点政策には、総合的な街づくり施策が位置づけられていません。

私たちは、基本構想のビジョンにも示された「住みやすく歩いて楽しいまちづくり」—総合的な街づくりを重点政策として位置づけ、住民主体の街づくりを継承すべきと求めました。

Q 二子玉川東地区再開発事業や下北沢駅前開発と関連する道路事業などは地域住民から大きな反発が起こっていますが…

A 開発事業などを実行する段階で住民と対立が起きた場合に、計画を押し通すのか、それとも住民とともに計画の見直しに着手するのか、区長の姿勢を問い質しました。区長は、「これまで以上に・・・ていねいに住民に説明し、相互の意見交換を含めた住民参加を強めていく必要がある」と答えました。

## 行政改革計画は「適切に見直す」

Q 今後の行政経営改革計画についてはどうでしょう。

A 基本計画に対するもう一つの提案は、前区政の行革計画の見直しです。

わが党は行政改革について、熊本前区政がすすめた区

民サービス削減と負担増の行政改革を抜本的に見直し、サービス向上のための行政改革に考え方を転換すべきと求めてきました。区は、これまでの行政改革の考え方は「適切に見直す」ことを明らかにしました。

具体的には、第一に民営化一辺倒でなく、質の確保と区の責任を明確にした対応を行うこと、第二に低所得者への配慮を位置づけるべき、と求めました。区は民間活用について「サービスの質に留意し、サービス提供基盤にかかる区の責任を確保することを前提に」とりくむとし、区民負担については「負担の割合に配慮するなど区民の理解のもとすすめていく」と答弁しました。

## 梅丘拠点整備プランに小児精神科の診療・相談を加えよ

Q 梅丘拠点整備プラン案も出されましたね。

A 梅丘拠点整備プラン案は、高齢者や障害者の支援施設などに加え、思春期、青年期のこころの健康相談や小児科、内科の初期救急診療、介護や障害特性に対応する人材確保などの計画が示され、積極的なものとなっています。今回さらに、休日、夜間に対応する初期救急診療所の平日、昼間の時間帯を有効活用した小児精神科の診療・相談を行うことを求めました。

区は「発達障害など、子どもの心の問題へのケアが大変重要であると認識し…区内の小児精神科の医療機関や小児総合医療センター等と連携しながら、子どもの心の健康に関する支援に積極的に取り組んでいく」と答えました。

また、高齢者や障害者が区内の各所から負担が少なく施設にアクセスできるバス路線などの検討を求めました。区は「実現に向けバス事業者と協議を重ねていく」と答弁しました。

秘密保護法反対の街頭アピール行動を、共産党、民主党、社民党、生活者ネット、F行革、一人会派などで行いました。

また、超党派で「秘密保護法撤回を求める意見書」を区議会に提案しました。



秘密保護法反対の街頭アピール行動



# 安心の介護のために 基本計画に3つの提案

安倍政権は社会保障を連続的に改悪するプログラム法を制定しました。介護保険は、大幅な給付削減が狙われています。介護保険改悪にストップをかけ、世田谷での課題解決のために次の3つを区の基本計画に盛り込むよう提案しました。



給田の特養ホーム

## 提案1 基盤整備…特養ホームの整備、当面1000人分の計画を

特養ホームの待機者は23区中3位(2228人)、整備率は23区中下から2位。老々介護で自宅では無理、病院たらい回しなど待機者の実態は深刻です。日本共産党は1000人分の整備計画を位置づけよと提案しました。

## 提案2 負担軽減…介護保険料、利用料の軽減拡充を

介護保険料はどんどん高くなっています。介護保険スタート時(2000年)の基準額は年間3万5600円でしたが現在は6万1200円。1.7倍です。介護保険料・利用料の区独自軽減制度の拡充を提案しました。

## 提案3 処遇改善…職員の処遇改善で安心の介護を

国は10年後には現在の1.5倍の介護職員が必要となると試算しています。しかし、介護労働者の賃金は他業種と比べて低いなど、区内の事業所も職員確保に苦労しています。処遇改善に区独自の支援を行うよう提案しました。

## ここまで実現しました

**基盤整備** 約400人分の特養ホーム整備計画が新たに示されています。(みらくる2013年11月号参照)

**負担軽減** 第3段階又は第4段階で年収150万円以下などの方を対象に保険料を第2段階に軽減。利用料の軽減制度もあります。

**処遇改善** 区独自の研修事業と受講料助成をしています。

## 保育園建設に遅れ！区が暫定施設整備の緊急対応

区は今年度、1500人分の保育園整備を目標としていますが、当初4月開設と発表していた施設のうち3園の整備が遅れ、7～8月開設見込みとなりました。

区は遅れた3園の緊急対策として補正予算を組み、4月から開園までの間の仮設園舎を小学校敷地等に整備します。党区議団は区に対し、関係者への丁寧な対応を求めました。

対象保育園	仮設園舎設置場所	仮設定員	開園予定
喜多見三丁目保育施設	喜多見小学校敷地内	38人	2014年7月
下馬四丁目保育施設	池尻小学校敷地内	84人	2014年8月
玉川三丁目保育施設	玉川3丁目42番先(都有地)	59人	2014年7月

(対象年齢は1～3歳児)

新年の抱負を  
漢字一文字で  
表しました。

**希** 希望溢れる一年にしていきたいです。

江口じゅん子

**躍** 暴走をくい止めるたかひの飛躍の年に。

桜井みのる

**歩** 区民とともに、一歩ずつ歩いていきます。

中里光夫

**民** 秘密保護法反対の声こそ、国民主権の発露です。

村田義則